

2013 年度事業計画

1. 基本方針

2013 年度は、組込みシステム産業振興機構（以下、振興機構という）として、更なる組込みシステム産業活性化と国内外競争力強化を目指すべく、会員のより積極的な参加（会員主導）のもと、「教育事業」、「開発支援事業」、「ビジネス支援事業」、「企画・広報事業」の 4 事業を柱に、これまで展開したサービスの絞込み（集中）と内容のレベルアップを図るとともに、新たな分野拡大等、新規サービスの開発を行う。さらに、企業、大学、行政等と連携強化に取り組むことで「産学官協働プラットフォーム」としての基盤強化を図る。

2. 各事業の活動方針

(1) 教育事業

- ・産業界が求める人材育成基盤の確立、次世代を担う組込みシステム技術者の育成に向け、「組込み技術者向けキャリアガイド」に基づき、全ての教育プログラムを統合・再編するとともに、新たな講座を追加した「組込み適塾」を産業技術総合研究所関西センター様（以下、産総研関西センター様という）と共同で開催する。

(2) 開発支援事業

- ・競争力強化に不可欠な Q C D 向上と安心・安全の両立に向け、産総研関西センター様と連携した検証サービスの展開をはじめとする組込みシステム開発力強化に向けた施策の充実を図るとともに、プライベートセミナー等を通じた情報共有・課題解決の場を創出する。

(3) ビジネス支援事業

- ・会員企業のビジネス受発注機会の創出・拡大に向け、会員要望の高い「企業出張展示」を中心とした活動を展開するとともに、プライベートセミナー等を通じた情報共有・課題解決の場を創出する。

(4) 企画・広報事業

- ・各部会と連携を図り、各事業活動の活発化に向けた戦略的な企画立案に取り組む。また、全国各地域との連携施策を積極的に展開することで各事業の基盤強化を図るとともに、交流サロンや研究会活動などを充実することで会員交流の促進やビジネスパートナーづくりを支援する。さらに、各部会や研究会の活動内容や国内外のビジネス等の情報発信に積極的に取り組むことで、振興機構のプレゼンス向上および会員拡充を目指す。

3. 各事業の活動計画

(1) 教育事業

①「組込み適塾」

組込み製品の国内外競争力強化を図るべく、組込みシステム技術者向けキャリアガイドを元に、従来のソフトウェアアーキテクチャ設計力強化に加え、組込み製品全体のアーキテクチャ設計力を強化、ならびに、設計を確実にかつ電子機器の性能をより一層発揮させる実装技術の強化を目的とした教育プログラムを産総研関西センター様と共同で提供する。

また今年度より教育プログラムをより実践的かつ体系的なものとするべく、これまでの受講者アンケート結果や組込み関連団体等へのヒアリング結果を踏まえ、既存の教育プログラムを「アーキテクチャ設計コース」、「実装エンジニアリングコース」の2つのコースにリニューアルし、開催することとする。(入塾式は、2013年6月28日に開催)

なお東北をはじめとした他地域への遠隔配信および現地開催にも取り組む。

1) アーキテクチャ設計コース（開催期間：2013年7月1日～8月23日）

- ・ベース科目（11講座）、選択科目（11講座）、システムデザイン科目（1講座）を開設。
 - 選択科目については、プロジェクトマネジメント志向技術者を意識した「プロセス管理」、システムアーキテクトおよびソフトウェアエンジニア志向技術者を意識した「リアルタイムエンジニアリング」の2つの科目を設定。
 - 優れたシステムアーキテクトとして必要な基礎スキルである「発想力」「抽象化力」および「多視点」を身につけるためのシステムデザイン科目（システム事例研究、等）を新設。
 - 組込みシステム開発における更なる安心・安全に対するニーズの高まりに対応するべく、「機能安全概論」、「セキュアシステム概論」を新設。
- ・ベース科目、システムデザイン科目と選択科目1科目を受講することでアーキテクチャ設計コース修了とする。なお、科目単位での受講・修了も可能とする。

2) 実装エンジニアリングコース（開催期間：2013年7月16日～10月18日）

- ・ベース科目（4講座）、実装演習科目（初級：5講座、実践9講座）を開設。
 - 設計を確実にかつハードウェアの特性を活かし電子機器の性能をより一層発揮させる実装技術を習得するためのプログラムを開設。
 - 従来の「組込み適塾」の実装に関する講座に「コ・デザイン実装演習」のカリキュラムを統合・再編し提供。
- ・ベース科目、実装演習科目全てを受講することで実装エンジニアリングコース修了とする。なお、科目単位での受講・修了も可能とする。

②「組込み適塾」における新たなコースの検討

- ・組込みシステム産業を取り巻く環境の変化に応じた「新市場の開拓・新ビジネスモデルの構築」への対応力強化に向け、組込み製品の価値拡大、性能向上と安心・安全を実現できる人材を育成するべく、産学官連携のもと新たにハイレベルな育成カリキュラムを検討する。

③次世代を担う人材育成のあり方にむけた検討

- ・次世代を担う組込みシステム技術者が、今後何を求められるのか、またその人材をどのように育成していくべきかについての意見交換・情報発信の場を創出するとともに、ビジョン検討を行う。

(2) 開発支援事業

①組込みシステム開発力強化に向けた施策の充実

- ・産総研関西センター様のモデル検証の技術を活用した有料サービスを提供する。
(目標：利用6件)
- ・新たな分野拡大等を意識した組込みシステム開発力強化に向けた施策を産学官連携のもと検討する。

②QCD向上と安心・安全の両立に向けた情報共有・課題解決の場の創出

- ・機能安全、開発手法等に関するニーズ・シーズの最新情報や会員各社の抱える開発課題やその対策等についての情報共有・課題解決の場（プライベートセミナー等）を創出するとともに、研究会活動のきっかけづくりに取り組む。

(3) ビジネス支援事業

①会員企業のビジネス受発注機会の創出・拡大

- ・受発注機会創出・拡大に向けて、産学官連携のもと会員企業から要望の高い「企業出張展示」を2回（8月、2月を予定）開催する。
- ・「企業出張展示」開催においては、成長が期待される「ヘルスケア」、「ロボット」、「新エネルギー」等の新たな分野を意識するとともに、関西での開催に加え、東北をはじめとした他地域での開催を検討する。

②新たな分野に関する情報共有・課題解決の場の創出

- ・「ヘルスケア」、「ロボット」、「新エネルギー」等の新たな分野に関するニーズ・シーズの最新情報や会員各社の抱える開発課題やその対策等についての情報共有・課題解決の場（プライベートセミナー等）を創出するとともに、研究会活動のきっかけづくりに取り組む。

③海外連携支援

- ・ベトナムソフトウェアIT協会（VINASA）様との包括的協定を基に、ベトナム等、アジアを中心とした企業の最新情報収集と会員への情報提供を行う。

④企業データベースの提供

- ・ビジネス機会創出を支援するべく、会員企業を紹介するための基礎データである企業データベースを提供する。

(4) 企画・広報事業

①戦略的な企画立案と実践

- ・全国組込み産業フォーラムをはじめとした全国各地域との連携や企業、大学、行政等との連携強化に取り組み「産学官協働プラットフォーム」の基盤強化を推進し、各事業の活発化や振興機構のプレゼンス向上を図る。
- ・組込み産業の更なる競争力強化に向けた先端的なコア技術に関する最新情報を収集し、会員企業に情報提供するとともに、産学官の共同研究連携ネットワークづくりに向けた施策を検討する。
- ・新たな分野拡大に向け組込みシステムに関する国内外情報発信拠点としての役割強化を図る。加えて、各事業部会活動に直結する情報発信の場として事業部会主催のセミナー等を企画し、活動の活発化を支援する。
 - 教育事業・・・「組込み適塾」の主旨をPRする説明会、教育セミナー等
 - 開発支援事業・・・課題共有の場としてのプライベートセミナー等
 - ビジネス支援事業・・・分野拡大を踏まえたプライベートセミナー等
- ・機動的な事業活動と安定的な持続運営の実現に向けた検討を行う。

②会員交流の促進

- ・産総研関西センター様と連携した AIST セミナーの開催や交流サロン（月1回程度を予定）を開催し、会員交流の充実を図ることで、会員間の情報共有や新たなビジネスパートナーづくり等を支援する。

③研究会活動の活発化

- ・会員企業の研究会活動への積極的な参加、新たな研究会の創設を促すべく、交流サロンやイベント等の施策を関連部会との連携のもと実施する。
- ・最新技術動向、商流の開拓、パートナーづくり、活動資金確保のための補助金制度等の情報提供など行い、活動の充実を支援する。

④広報活動の充実

- ・振興機構のプレゼンス向上に向けて、組込み総合技術展（ET）等の組込み関連イベントの出展に加え、新たな拡大分野への進出や研究会等の活動に関連するイベントへの出展も検討する。
- ・振興機構の活動内容について、新聞掲載等マスメディアを通じた情報発信を行うことで更なる振興機構のプレゼンス向上を図る。

以上